

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年08月24日

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	神奈川県												
計画の目標	<p>【真鶴港】 真鶴港活性化整備計画に基づき、物揚場及び船揚場を改良し、産業活性化に向けた基盤を整備する。</p> <p>【湘南港】 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催される湘南港において、必要な環境整備を着実に進行。</p> <p>【相模湾の港湾】 地方港湾、漁港、マリーナと連携した相模湾クルージングツアー活性化のための基盤整備等を行う。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,317	A	1,314	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.22	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 令和2年度	中間目標値	最終目標値 令和6年度
1	<p>【真鶴港】 物揚場及び船揚場の改良により、水面係留8隻及び陸置8隻を可能とし、産業を活性化する。</p> <p>物揚場改良後の漁船係留隻数</p>	0隻	隻	8隻
2	<p>【湘南港】 緑地(トイレ等)の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。</p> <p>本整備計画に位置付けられた江の島内のトイレバリアフリー化率</p>	0%	%	100%
3	<p>【相模湾の港湾】 相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。</p> <p>相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを実施した事業者数</p>	0者	者	2者

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

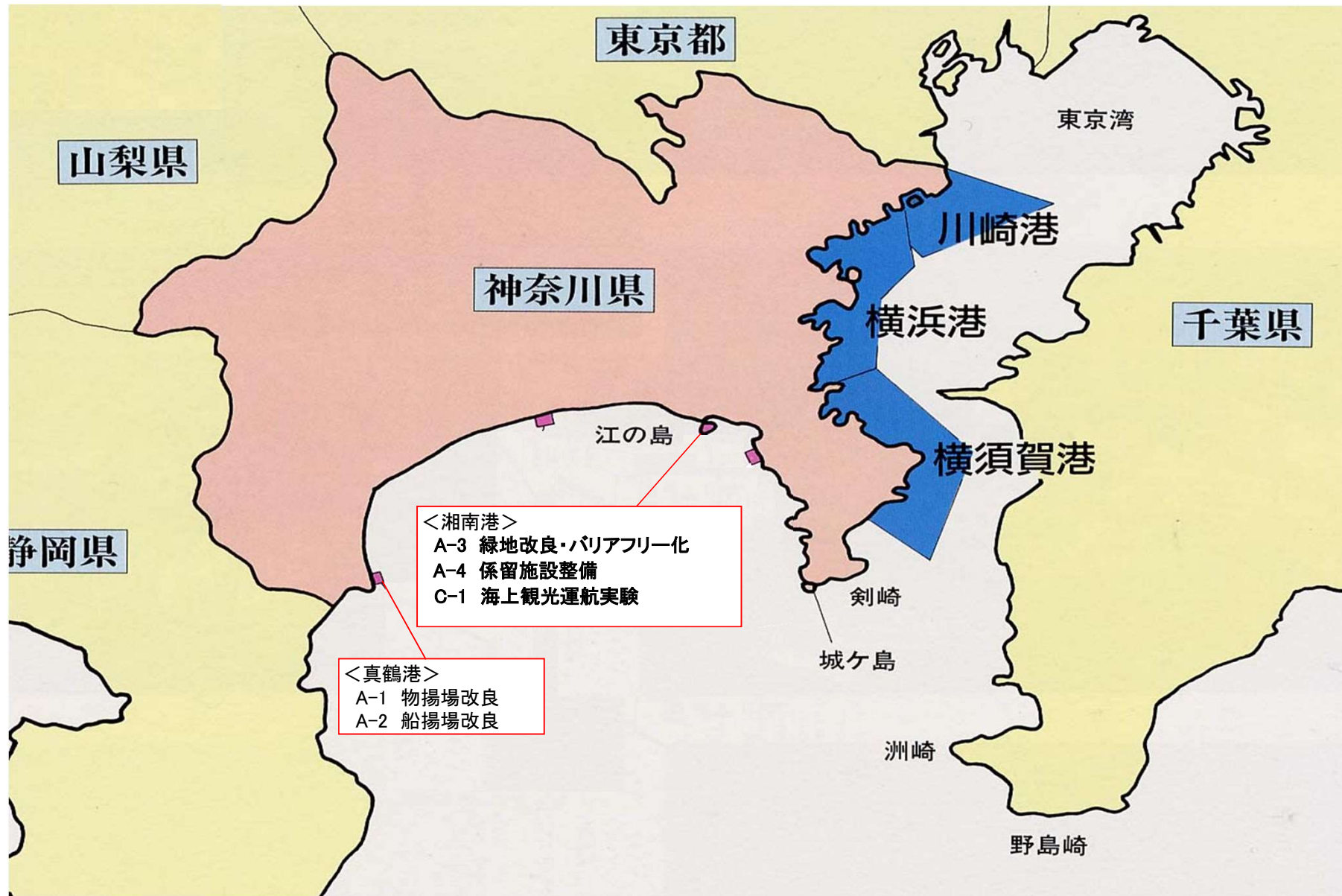
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	物揚場改良	物揚場改良 L=157m	真鶴港 真鶴地区						667	-	
	A02-002	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	船揚場改良	船揚場改良 L=90m	真鶴港 真鶴地区						225	-	
	A02-003	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	緑地改良・バリアフリー化	緑地改良・バリアフリー化 1式	湘南港 江の島地区						45	-	
	A02-004	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	係留施設整備	係留施設整備 1式	湘南港 江の島地区						377	9.8	-
											小計						1,314		
											合計						1,314		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	-	海上観光運航実験	海上観光運航実験 1式	湘南港 江の島 地区						3	-	
		海上観光運航実験を実施することで、相模湾の港湾における海上観光の実現を図り、港の賑わいを創出する。																	
											小計						3		
											合計						3		

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）	交付対象	神奈川県



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	
配分額 (a)	47	69	60	20	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	47	69	60	20	
前年度からの繰越額 (d)	0	35	60	60	
支払済額 (e)	12	44	56		
翌年度繰越額 (f)	35	60	60		
うち未契約繰越額 (g)	35	59	2		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	4		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	74.46	56.73	5.0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由	工事着手箇所について利用者との調整に不測の日数を要したため	工事着手箇所について利用者との調整に不測の日数を要したため	基本計画の策定に不測の日時を要したため		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 相模湾の港湾における安全で快適な港づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性（計画の目標が港湾の整備計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○